



# 文京三中だより



教育目標 自ら考え、進んで学ぶ人 思いやりのある、心豊かな人 ねばり強く、心身ともにたくましい人

文京区立第三中学校 〒112-0003 東京都文京区春日1-9-31

電話 03-3814-2554 FAX 03-5689-4556 HP <http://www.bunkyo-tky.ed.jp/daisan-jh/>

## ～ 夏休みに向けて ～

校長 阿部 昭彦

いよいよ皆さんが楽しみにしていた夏休みがやってきました。夏休みは、4月から7月までの振り返りを行い、良いところはさらに伸ばし、改善すべきところはきちんと改善し、2学期へとつなげてほしいと思います。

夏休みは、チャイムのある規則正しい集団生活の学校から離れ、自分で計画を立てて生活することになります。したがって、夏休みを有意義に過ごせるかどうかは、みなさん一人ひとりの「こうしていこう」という強い意思としっかりとした目標を持って、計画的に努力できるか、にかかっています。

私から皆さんに、夏休みに向けてのメッセージを贈りたいと思います。その言葉は

どこまで やったかじゃない  
どこまで できるかだ  
そこに 見えなかったものが  
きっとみえる  
挑戦だよ 何でも

この言葉は、夏休みに自分の夢や希望にむかって（挑戦しよう）頑張ろうとしている君たちに、心をこめてエールを贈る言葉です。若い時に、自分の限界に挑戦することは大事なことです。今日よりは明日、明日よりは・・・と自分を一步でも、二歩でも、前進させることは、やがて大きな成長へ、そして、夢や希望の実現、目標の達成につながっていきます。努力なくして成功や成果は生まれません。夏休みには何かやることを決めて、「挑戦」する気持ちで頑張ってください。

最後に、夏休み明けには一人の事故も無く、心身ともにたくましく成長した姿で、みなさんが登校してくれることを教職員みんなですべて願っています。

### 保護者の皆様へ

1学期の間、本校の教育活動にご理解ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。保護者の皆様のご協力があり、大きな事故や怪我がなく生徒たちが過ごせたのではないかと思います。

三中は「大人になるための学校」をキャッチフレーズに教育活動を進めてまいりました。この夏季休業中にご家庭でも「大人になるためには・・・。」ということをお子様とともに考えてみてはいかがでしょうか。子どもたちは将来、社会に出ます。その時のために・・・。

## 9月行事予定

日	曜	学 校 行 事
1	金	始業式 防災・避難訓練
2	土	
3	日	
4	月	朝礼
5	火	
6	水	職員会議
7	木	
8	金	歯科保健指導
9	土	道徳地区公開講座 学校説明会 親子ふれあい教室
10	日	
11	月	生徒会朝礼
12	火	八ヶ岳移動教室前検診
13	水	研修会
14	木	
15	金	
16	土	土曜教室
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	
20	水	八ヶ岳移動教室 職場体験 学年会
21	木	八ヶ岳移動教室 職場体験
22	金	八ヶ岳移動教室 職場体験
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	生徒会役員選挙
26	火	
27	水	学年会
28	木	安全指導
29	金	
30	土	



## 運動会に新たな競技が 加わりました!

今年度の運動会から「未就学児や小学生」が参加できる競技が増えました。未就学児は三中の生徒と手をつなぎ 20Mほど走ります。ゴールには生徒手作りの袋に入ったお菓子が待っています。また、小学生はパン食い競走でしたが、なかなかパンを口に入れることができませんでした。そんな時に係りの生徒が周りからは見えないように、そっとパンに手を添え小学生がパンを口にしやすいようにしていました。微笑ましい競技となりました。



### 夏季休業中の学校

- 7/21 (金) 夏季休業日始 三者面談始  
夏季水泳教室始  
トリスクール始
- 7/22 (土) ~23 (日)  
礫川サマーフェスティバル  
文京朝顔・ほおずき市  
中学校合同説明会 (22日)
- 7/28 (金) トリスクール終
- 7/29 (土) ~8/1 (火) 八ヶ岳林間学園
- 7/30 (日) 傳通院納涼盆踊り大会
- 7/31 (月) 連合演奏会
- 8/3 (木) 東京都中学校  
吹奏楽コンクール
- 8/23 (水) ~25 (金) 区総合体育大会
- 8/31 (木) 夏季休業日終

### 夏休みの子育て (ある保護者の方から)

#### 「上手に見守ること」

子どもの教育に熱心になるあまり、つい親が世話を焼きすぎることがあります。行き過ぎた応援はかえって逆効果。親が口を出しすぎると、子どもの自主性や考える力を伸ばす機会を奪ってしまうことになります。親は程よい距離で、客観的な視点を持つと良いでしょう。夏休みは、親子で過ごす時間も長いため、親が子どもに過干渉になったり、子どもが親に依存気味になる状況が生まれやすくなります。この夏は以下のことを試されてはいかがでしょうか。

1、目標や計画は子ども自身で決める。

期間が長い夏休みに、じっくりと一つのことに取り組む集中力や根気を養いたいですね。ここで大切なのは、目標や計画は子ども自身が決めるということです。もしも親が子どもの目標を決めてしまうと、子どもにとって目標は「自分のためではなく親のため」になってしまい、責任感や意欲は生まれません。

2、子どもには「承認」の言葉かけを。

たとえば、声かけて「勉強しなさい」や「怠けたらだめだ」などの注意を促す言葉よりも、「すごいね!」「よく頑張ったね!」などの承認の言葉をかけてはどうでしょうか。子どもにとって一番うれしいことは、親に認められることです。親の温かい視線をいつも感じることで、子どもは深い満足感を得ることができます。